

## 第4回 地区別懇談会【①青井地区】

日時：令和3年7月20日（火）18:30～

場所：人吉東小学校体育館

### 次第

1. 開会挨拶
2. 治水対策に関する国・県からの説明
3. 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
  - (1) 地区別懇談会の振り返りと情報提供【資料1】 【資料5】
  - (2) 懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向（更新案）について
    - ①復興まちづくりの方向案（前回意見を踏まえた更新案）【資料2】
    - ②復興まちづくりのイメージ案（前回意見を踏まえた更新案）【資料2】
    - ③主な取組み案と参考事例など【資料3】 【資料4】
4. 地区ごとの話し合い
  - (1) 復興まちづくりの具体的イメージ案について

- 取組み方針、具体的取組み、イメージ案について、問題はないか？
    - 地区全体の活性化に向けて重点的に協働して取組むべき施策やアイデアは？
    - 有効と考える参考事例は？
  - (2) 今後の進め方、次回日程の調整、連絡体制の確認について
5. 全体共有
6. その他
7. 閉会挨拶

#### 【資料】

- ・資料1：地区別懇談会だより第2号、市全体版（地区別懇談会の取組状況のお知らせ）
- ・資料2：復興まちづくりの方向とイメージ（更新案）
- ・資料3：主な取組み案と参考事例
- ・資料4：参考資料（対象地の現況等）
- ・資料5：人吉市被災市街地復興推進地域（案）チラシ

### 青井地区の『復興まちづくりのイメージ案』について ~第3回懇談会の意見概要②~

黄色網掛け箇所が第3回懇談会の参加者の主な意見です。(※決まった内容や事実確認をした内容ではありません)

#### 青井地区 復興まちづくりのイメージ(案)

**■避難路の整備・対策の検討** (検討メニュー案)

- ① 国道445号の拡幅整備
- ② 高台避難場所への道路改良及び土砂災害対策
- ③ 踏切部の災害時の自動車通行対策
- ④ 駅跨線橋北側の土砂災害対策
- ⑤ 高台避難場所(人吉西小)への急坂及び土砂災害対策
- ⑥ アンダーパス改良・冠水対策及び旧道利用対策

**凡例**

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 登録文化財
- 歴史的建物等
- 仮設店舗等
- 公共浴場
- 交流拠点
- 歴史・文化拠点
- 古い・新しい拠点
- まちなか居住・避難拠点
- 防災拠点
- 高台地区
- 史跡人吉城跡
- 重点整備検討区域
- 被災市街地復興推進地域(検討区域)

■ 大村横穴群(古墳) 観光資源として盛り上げたい 見学できる観光やアクセスできるバス停等、現在ない

■ ひよどり越え 避難階段を整備できないか?

■ 東西コミセン周辺の浸水対策

■ アンダーパスが浸水し、何日も通行止 人吉西小学校方面への唯一の主要避難道路 踏切でも良いので改良してほしい

■ 駅に立体駐車場をつくれれば、避難場所としても利用できる

■ 人吉駅に高速バス停留所を設置

■ 国道445号 拡幅するなら早く決める(道路中心からの後退距離) 今が拡幅のチャンス 次のステップを考え拡幅は受け入れるので、方針を早く教えてほしい 高上げは必要ないのか? 治道は再建が進む所もあり、再建後の国道整備は順序に違和感 拡幅ではなく門前通り(例、太宰府)の様な雰囲気相応しい

■ 蓮池: 昭和2年に 出町地蔵まで埋立て 江戸時代を再現するなら 出町地蔵が中心になる

■ 回遊する雰囲気が途切れている

■ 川沿いは川と親しめるつくり 堤防沿いの歩道の高さを上げる

■ 「禊橋」復旧費に寄付をもらっているが未着工 →理由は国道445号拡幅の結論待ち 結論を早く出してほしい

■ 人吉旅館の道を拡幅すると風情がなくなる 浴衣で旅館からまちなかを歩ける雰囲気が良い 低い土地の嵩上げ等の検討

■ 江戸時代はここで参りして参勤交代に出ている『球磨絵図』(人吉城歴史館にあったが水没)に 昔の市房から球磨村までが描かれている 画像データはあるので、大きく伸ばして公園に設置すると地元の人、よその人も皆が喜ぶ

■ 九州電力青井寮と 避難場所の協定を結ぶ

■ 水辺を生かした空間づくり

■ 九州電力青井寮と 避難場所の協定を結ぶ

■ 江戸時代はここで参りして参勤交代に出ている『球磨絵図』(人吉城歴史館にあったが水没)に 昔の市房から球磨村までが描かれている 画像データはあるので、大きく伸ばして公園に設置すると地元の人、よその人も皆が喜ぶ

■ 江戸時代はここで参りして参勤交代に出ている『球磨絵図』(人吉城歴史館にあったが水没)に 昔の市房から球磨村までが描かれている 画像データはあるので、大きく伸ばして公園に設置すると地元の人、よその人も皆が喜ぶ

■ 江戸時代はここで参りして参勤交代に出ている『球磨絵図』(人吉城歴史館にあったが水没)に 昔の市房から球磨村までが描かれている 画像データはあるので、大きく伸ばして公園に設置すると地元の人、よその人も皆が喜ぶ

#### ◇お問い合わせ◇

人吉市役所 復興局 復興支援課  
 〒868-8601 熊本県人吉市下城本町 1578-1  
 Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869  
 E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

これらに関する情報は、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧になれない人はお問い合わせください。

## 地区別懇談会だより

Vol.2

## 青井地区

~みんなで取り組む、人吉市の復興まちづくり~

### 『地区別懇談会(第3回)』を開催しました

甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ、それぞれの地区ごとに「地区別懇談会」で話し合いを進めています。  
 薩摩瀬地区の対象地区は、上青井町、中青井町、下青井町、駒井田町、城本町です。

#### ◆第3回地区別懇談会

- 1 地区の復興まちづくりに向けての参考資料の説明
  - ・地区別懇談会の振り返りと情報提供
  - ・懇談会意見を踏まえた復興まちづくりの方向案、イメージ案と参考事例について
- 2 地区ごとの話し合いと全体共有
  - ・復興まちづくりの方向案(課題、取組方針、具体的な取組み案)について
  - ・復興まちづくりのイメージ案について
- 3 今後の進め方と次回日程の調整



6月17日(木)18時半から、東西コミュニティセンターで開催しました。(参加人数:34名)

### 懇談会の進め方について ~復興まちづくり計画の策定に向けて~

地区別懇談会での検討をもとに、具体的な復興まちづくりの取組を「復興まちづくり計画」に反映していきます。

#### ◆地区別懇談会の参加方法

- ・対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます。
- ※可能な範囲で、継続的な話し合いに参加いただけます。
- ・参加申込は随時受け付けておりますので、本紙面末尾の復興支援課までお問合せください。多くの方のご参加をお待ちしております。

#### ◆地区別懇談会の進め方

- ・7~9月の間に、概ね月1回(3~4回程度)の開催を予定しています。

次回の開催予定: **第4回 7月11日(日) 18時30分より**

次回のテーマ予定: 復興まちづくりの具体的なイメージや手法案について **会場: 人吉東小学校体育館**

参加募集中



#### ◇復興まちづくり計画とは

- ・復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したものです。
- ・特に被害の大きい特定地域(重点地区)などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・住民主体の計画づくり(策定主体は主に住民)に対して、行政が支援し、計画策定をめざします。
- ・計画期間は、令和4~9年度の概ね6年間。(令和3年度からの一部実施も想定)

□は方向案の柱、赤字は事務局側での記載事項です。 黄色網掛け箇所が第3回地区別懇談会における参加者の主な意見です。（※決まった内容や事実確認をした内容ではありません）

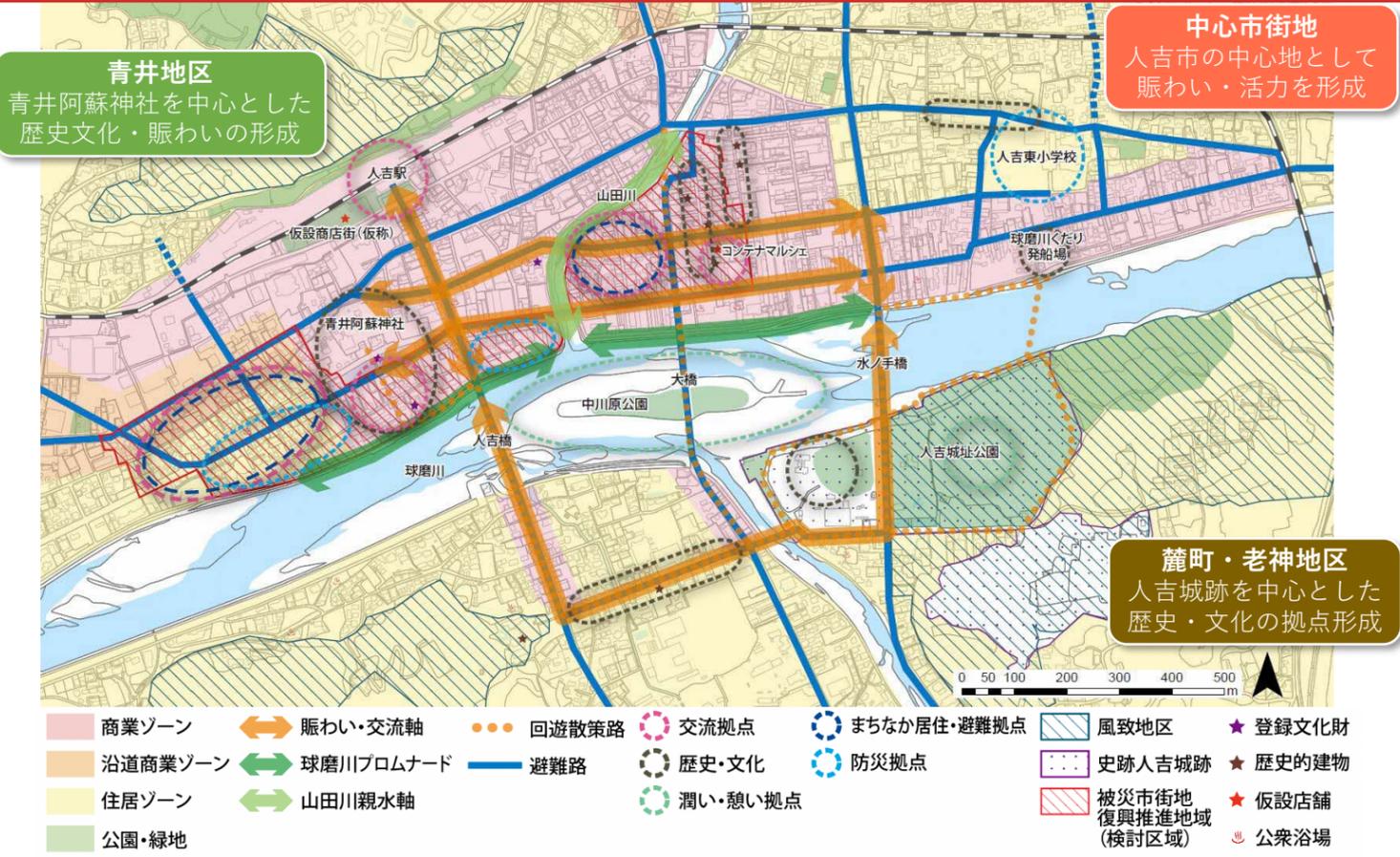
| 意見集約のキーワード<br>(復興計画の3つの柱)                         | 地区の主な課題<br>(地区の復興まちづくりに向けた主な課題)   | 取組み方針<br>(課題解決のための取組み方針の柱)   | 具体的取組み(案)<br>※実現化に向け、今後検討が必要   |
|---|---|--|--|
| ①被災者のくらし再建と<br>コミュニティの再生<br>【住まい再建】<br>【コミュニティ再生】 | <input type="checkbox"/> <b>住まいの再建と安全性の向上</b><br>・「なりわい再建補助金」は元と同条件での再建が補助要件で、新しい規格での再建には支援がないという。<br><input type="checkbox"/> <b>地域コミュニティの再生</b><br>・小学生～高校生の人数が減っており、祭りの際は他町内から手伝いに来てもらっている。【駒井田町】  | <input type="checkbox"/> <b>安全な住まいの確保</b><br>・再建する建物にも、住宅や商いをする建物など色々ある。それぞれが醸し出すものがあり、各地区の特性を踏まえる必要がある。<br><input type="checkbox"/> <b>コミュニティの拠点の再生</b>   | <input type="checkbox"/> <b>安全性を高める建て方の誘導</b><br>・解体後に新築したいが、高上げや道路幅の方針はいつ決まるのか？設計に関わってくる。<br>・3・4階でないで安心して居住できない。建設に行政からの資金補助があると助かる。<br><input type="checkbox"/> <b>地域の集会所の再建</b><br>・日頃からホテルの一部施設を集会所として利用。【上青井】<br>・下青井町会館の小部屋は利用できるようにしたが、天井、壁は張れず、市助成金では不足。<br>・会話する場所が欲しい。毎日会話する時間を作っている。【駒井田】<br>・コロナが落ち着いたら他の公民館等を借りて、子ども食堂を再開したい。【駒井田】   |
| ②力強い地域経済の再生<br>【生業再建】                             | <input type="checkbox"/> <b>生業の再建と賑わいの再生</b><br><input type="checkbox"/> <b>観光のイメージづくり</b><br>・人吉駅から駒井田周辺は観光のイメージがない。<br>・観光資源：青井阿蘇神社、SL、映画撮影現場。  | <input type="checkbox"/> <b>生業の再生に向けた環境づくり</b>   | <input type="checkbox"/> <b>個々の事業所の再建支援</b><br><input type="checkbox"/> <b>観光のメニュー</b><br>・大村横穴群(古墳)付近の道路を整備し大型バスが通れるようにしては。<br>・人吉駅と産交バスの提携。高速バス停留所を作ると、そこから歩いて観光でき、県外からの観光促進になり、地元の人も駅経由で県外へ行ける。   |
| ③災害に負けない<br>まちづくり<br>【避難対策】                       | <input type="checkbox"/> <b>安全な避難ルートの確保</b><br><input type="checkbox"/> <b>避難施設の確保・改善</b><br><input type="checkbox"/> <b>安全な避難の仕組みと体制の強化</b>  | <input type="checkbox"/> <b>安全な避難路の整備</b><br><input type="checkbox"/> <b>複数の避難場所の確保</b><br>・想定浸水レベルに応じ、方策検討する必要がある。<br><input type="checkbox"/> <b>適切な情報発信の実施</b><br><input type="checkbox"/> <b>自助共助の避難体制の構築</b><br>・今回5度目の水害で一番ひどかったが球磨川を恨んではない。また来ても仕方がないと思っている。<br>→ 自宅ベランダに屋根に上るための階段を作っている。他所をあてにしないで垂直避難する。 | <input type="checkbox"/> <b>地域の安全性の向上に資する道路の整備</b><br>・南北方向(村山公園)への真っすぐな避難路の充実。【上青井・中青井】<br>・災害時に活躍する公共交通の体制構築。<br><input type="checkbox"/> <b>垂直避難や車移動に留意した避難場所の確保</b><br>・下青井には逃げる所がない。住民も一般の人でも逃げ込める高い建物をつくることは有効。<br><input type="checkbox"/> <b>防災情報の伝達機能強化</b><br><input type="checkbox"/> <b>自助共助の避難体制の構築</b><br><input type="checkbox"/> <b>地域特性を踏まえたマイ・タイムライン、地区防災計画の作成</b><br><input type="checkbox"/> <b>災害ゴミへの対応(災害後の災害ゴミ置き場の指定、ゴミ置き場の管理体制の構築)</b>   |
| 【復興まちづくり】   | <input type="checkbox"/> <b>地域特性を活かした復興まちづくり</b><br>・人吉には喫茶店が少ない。<br>・今の堤防高は子どもの目線では川が見えない。<br><input type="checkbox"/> <b>留意すべき復興まちづくり上の課題</b><br><input type="checkbox"/> <b>インフラの課題</b><br>・上青井地区の排水管が詰まり、交差点付近のトイレ等の水が蓮池に流れ込んでいる可能性。<br>・将来を考えた場合、都市計画決定時の道路幅員14mの妥当性再検討の必要がある。明確な理由説明が求められる。 | <input type="checkbox"/> <b>地域特性を活かした復興まちづくりの推進</b><br><input type="checkbox"/> <b>地区が一体となった復興まちづくり方針の共有化</b><br>・住宅再建が大変で、公園整備にまでなかなか気が回らない。  | <input type="checkbox"/> <b>青井地区のグランドデザインの作成</b><br><input type="checkbox"/> <b>面的まちづくり手法を活用した良好な市街地環境形成</b><br>・区画整理などで下青井の町内で高台へ換地し住まいの安全性を高めるということが可能ならば、ぜひともお願いしたい。解体している所は有効では。<br>・青井神社の周りに公園もでき、道路も広がるのは理想だ。<br>・観光を考えると、国道445号幅員は適切ではなく、下林柳瀬線を主要幹線道路にしては。<br>・蓮池から球磨川に向かうエリアでの道路幅員14mの整備。<br><input type="checkbox"/> <b>公共交通を活かした人の滞留の促進(JR肥薩線の早期再開)</b><br><input type="checkbox"/> <b>賑わいや交流・コミュニティの活性化につながる拠点機能の強化</b><br>・球磨川から青井神社の鳥居への空間の門前町としての整備。<br>・高齢者がまちブラ出来るよう、町内の駐車場・公園の整備(子供が少なく公園は高齢者向)。<br>・新規出店希望者への空き地・空き店舗の情報共有・発信。<br>・まちの中で市民が滞留できるような道路の整備(車道の一部を狭くする)。<br>・拡幅した道路を平常時交通規制し賑わいを創出。<br>・辻病院(山側の建物)跡地を公園や子供の遊び場にしては。<br>・オランダのアムステルダムのように、住宅の裏側に共有の広場を作っては。【駒井田】<br>・街路樹を含めた町内の緑化。<br>・サイクリングロードの整備。<br><input type="checkbox"/> <b>球磨川を活かしたまちづくり</b><br>・現在、まちから川沿いがとてもよく見えている。水辺を活かした空間づくりは良い。 |
| 【治水・土砂災害対策】                                       | <input type="checkbox"/> <b>河川氾濫</b><br>・もともと人吉の温泉街のまちは、6mの堤防高があれば水害は来ないというデータがあったが、まちの人が「川が見えないから」という理由で反対した。6mあれば、だいぶ助かったかもしれない。  | <input type="checkbox"/> <b>流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下</b><br>・治水対策は大学教授たちを信頼して頭脳集団に任せする。<br><input type="checkbox"/> <b>小河川の氾濫対策の推進・促進</b><br><input type="checkbox"/> <b>急傾斜地対策</b>  | <input type="checkbox"/> <b>流域治水プロジェクトによる本川・支川の水位の低下</b><br>・先人の智慧・治水対策の見直しと活用。水位の段階的な対策の検討。<br>・可搬式特殊堤防の導入(平常時は景観を楽しめる)。<br>・まちを守る、鳥居の高さ以上の堤防が必要。景観を考えるなら、江戸時代の石垣、城壁風にしては。<br>・球磨川の幅を拡げ、堆積土砂を取ることが必要。<br><input type="checkbox"/> <b>小河川の氾濫対策の推進・促進</b><br>・御溝川の開渠(住民が氾濫状況を確認できる)、流水のコントロール。<br><input type="checkbox"/> <b>急傾斜地対策</b>  |

# まちなかの復興まちづくりの取組方針（案）

# 人吉市の復興まちづくり

## 地区別懇談会の取組状況のお知らせ

2021.  
7.1  
発行

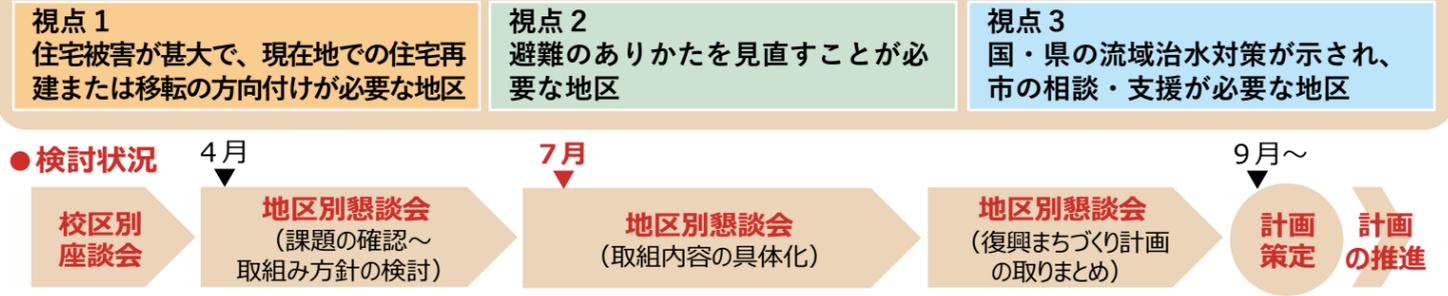


### 地区別懇談会の開催状況と今後の予定について

- ・ 甚大な被害や治水対策による影響が大きいなど、**地区でまとまって問題解決に取り組む必要性の高い地区を「重点地区」として位置づけ**、それぞれの地区ごとに「**地区別懇談会**」で話し合いを進めています。
- ・ 地区別懇談会での検討をもとに、具体的な復興まちづくりの取組を「**復興まちづくり計画**」に反映していきます。



● **重点地区** 大柿地区、中神地区、温泉下林地区、薩摩瀬地区、左岸地区、中心市街地、青井地区、麓・老神地区

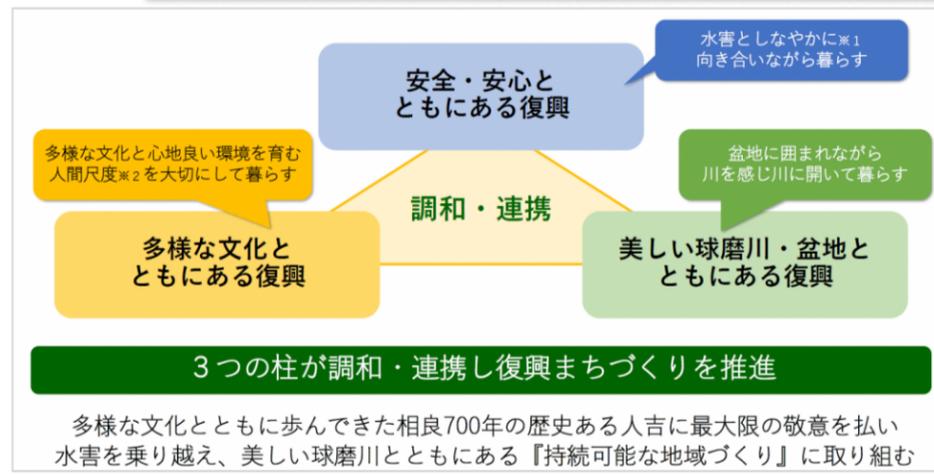


- ・ 8月頃に、各地区の検討状況を共有する**中間報告会**を開催予定です。
- ・ 重点地区以外においても、8月を目途に**校区别座談会**を開催予定です。

### 復興まちづくり計画の策定に向けて

- **復興まちづくり計画とは**
- ・ 復興計画を実現するために取り組むべき内容を検討・整理したものです。
- ・ 特に被害の大きい特定地域（重点地区）などを対象に、各地域の具体的な計画づくりを行います。
- ・ **住民主役の計画づくり（策定主体は主に住民）**に対して、**行政が支援**し、計画策定をめざします。
- ・ 計画期間は、令和4～9年度の概ね6年間です。（令和3年度からの一部実施も想定）

現在、懇談会では、取組の方針と具体の取組みについて検討を進めています。検討中の主な取組の一部を、中面及び裏面でご紹介しています。



左図：人吉市まちなかグランドデザインの方針（案）（中心市街地第3回懇談会資料より）

懇談会は、対象地区にお住まいの方や勤務されている方など、どなたでも参加できます



### 各地区の懇談会での主なトピック

|   |   |
|---|---|
| <b>中心市街地</b><br>鶴田町、鍛冶屋町、七軒町、北上新町、南新町、下新町、大工町、二日町、五軒町 | 中心市街地は、人吉市の中心地として、賑わい・活力を形成するため、くらしの再生や避難対策とともに、各町の特性を活かしたまちづくりの方針や具体の整備手法を中心に検討を進めています。<br>□ 地区内の主要道路・避難路の整備、垂直避難ができる避難場所・車での避難場所の確保<br>□ 自助共助の避難体制の構築、来街者・観光客の避難誘導対策、実践的な避難訓練の実施<br>□ 避難所機能の充実、まちなかの防災・避難支援スペースの確保<br>□ 中心市街地のグランドデザインの作成～面的なまちづくりの実施、歴史的建物や路地空間等を活かした街並み形成<br>□ 球磨川を活かしたまちづくり（親水空間の整備、発船場～城見庭園の拠点化）  |
| <b>青井地区</b><br>駒井田町、上中町、下青井町、城本町                      | 青井地区は、中心地の一翼として、くらしの再建や避難対策とともに、青井阿蘇神社を中心とした歴史文化を活かした賑わい形成の方針を中心に検討を進めています。<br>□ 地区の安全性向上に資する道路の整備(北部高台避難場所への避難路の整備、国道の整備)<br>□ 垂直避難や車移動に留意した避難場所の確保（避難場所の浸水対策、避難場所の協定）<br>□ 安全性を高める建て方の誘導、集会所等の再建、新規店舗の誘導、小河川氾濫や急傾斜地の対策<br>□ 青井阿蘇神社周辺の賑わい形成(公園や集客空間の整備、門前町としての整備、水辺の活用)<br>□ 良好な市街地環境形成(面的まちづくり手法等を活用した浸水対策と道路・公園・広場等の充実)<br>□ 国道整備と連携した活気ある沿道市街地の形成(沿道への店舗誘導、歩行環境の充実) |
| <b>麓・老神地区</b><br>南寺町、新田町、麓町、老神町、田町                    | 麓・老神地区は、球磨川や胸川による浸水の危険性に備えて、安全な避難所・避難場所の確保や人吉城址周辺の活性化等に向けた取組を中心に検討を進めています。<br>□ 市街地の衰退の分析<br>□ 人吉城址周辺の活性化<br>□ 地域性を踏まえた防災マップの作成<br>□ 情報発信機能の強化<br>□ コミュニティの再生<br>□ 安全な避難場所・避難ルート確保・確認<br>□ 防災意識の醸成、体制の強化  |

### ◇お問い合わせ◇ 人吉市役所 復興局 復興支援課

〒868-8601 熊本県人吉市下城本町1578-1  
 Tel:0966-22-2111(内線:8893) Fax:0966-24-7869  
 E-mail:fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

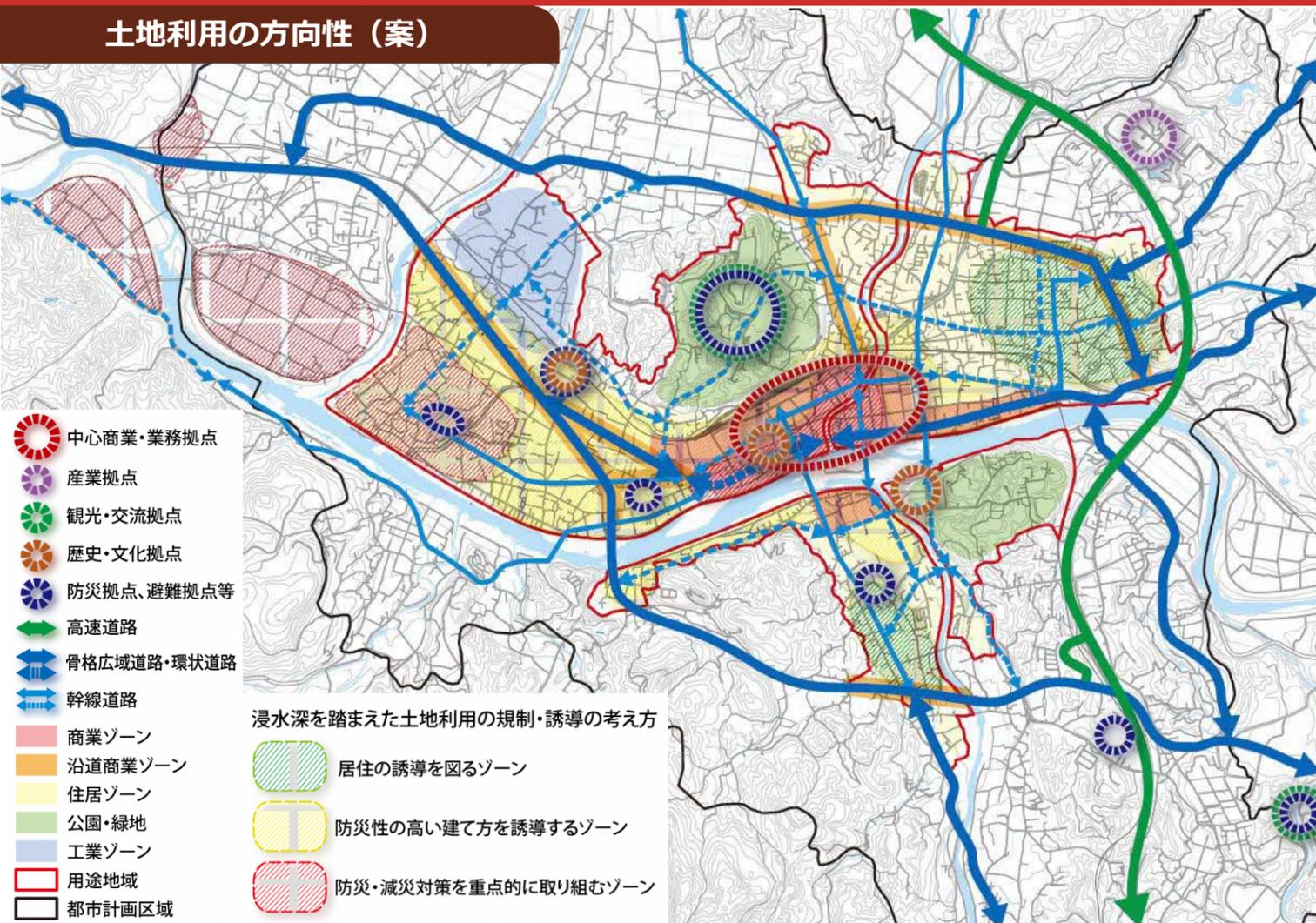
地区別懇談会の開催のお知らせは、市ホームページにも掲載しています。ホームページをご覧にならない方はお問い合わせください。

# 各地区の復興まちづくりの取組方針（案）



「地区別懇談会」で検討中の内容をお知らせします。  
ご関心のある方は、ぜひ次回の懇談会にご参加ください！

## 土地利用の方向性（案）



## 各地区の復興まちづくりの取組方針（案）

①被災者のくらし再建とコミュニティの再生  
【住まい再建】 【コミュニティ再生】

②力強い地域経済の再生  
【生業再建】

③災害に負けないまちづくり  
【避難対策】

【復興まちづくり】

【治水・土砂災害対策】

※各地区の復興まちづくりの取組方針は、以下の項目を基本としつつ、地区の特性・課題に応じて、主な取組のメニューを選択し、検討を進めています。

- 住まい再建における安全性の向上
- コミュニティの再生
- 集会所等のコミュニティ拠点の再建
- まちなかの生業再生に向けた環境づくり
- 観光資源である”温泉”を活かしたまちづくり
- 人吉城址周辺の活性化
- 農地の再生による生業の再建
- 安全な避難路の整備
- 緊急避難場所の整備
- 複数の避難場所の確保
- 「安全な避難」のための「平常時の準備」
- 適切な情報発信の実施
- 地域性を踏まえた自助共助の避難誘導體制の構築
- 避難所の見直し
- 避難所の機能拡充
- 避難所・自主避難所の運営方法の検討
- 地域特性を活かした魅力ある復興まちづくりの推進
- 一体的な復興まちづくり方針の共有
- 人が集い、過ごす風景の再生
- 内水対策、排水対策の推進・促進
- 急傾斜地対策
- ※流域治水プロジェクト

## 各地区の懇談会での主なトピック

中心市街地、青井地区、麓・老神地区については、裏面をご覧ください。

### 大柿地区

中神町大柿、小柿

大柿地区は、今次豪雨による被災状況を踏まえ、住まいの再建やコミュニティの再生、農地の復旧、避難路・避難所の見直し等の取組を中心に検討を進めています。また、流域治水（遊水地）については、国の検討状況を確認しています。

- 安全性を高める住まいの再建方法の誘導
- 農地復旧・農業の継続
- 安全な避難路の整備
- 避難所の見直し・機能拡充
- 防災情報の伝達機能強化
- 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成
- 治水対策（遊水地）に関する情報提供

### 中神地区

中神町城本、段、馬場、下原田町瓜生田

中神地区は、今次豪雨による被災状況を踏まえ、住まいの再建やコミュニティの再生、農地の復旧、避難路・避難所の見直し等の取組を中心に検討を進めています。また、流域治水（遊水地）については、国の検討状況を確認しています。

- 安全性を高める建て方の誘導
- 農地復旧・農業の継続
- 安全な避難路の整備
- 避難所の見直し・機能拡充
- 防災情報の伝達機能強化
- 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成
- 自助共助の避難体制の構築
- 治水対策（遊水地）に関する情報提供

### 温泉下林地区

下林町、中林町、温泉町

温泉下林地区は、球磨川・万江川や小河川による浸水の危険性に備えて、「早めの避難」など避難方法の見直し、コミュニティの核となる場の再生等の取組を中心に検討を進めています。

- 安全性を高める建て方の誘導
- コミュニティの核としての集会所の再建
- 観光資源としての温泉の復活
- 農地の再生
- 村山台地への避難路の整備
- 安全な避難場所の整備
- 防災情報の伝達機能強化
- 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成
- 内水対策の推進・促進

### 薩摩瀬地区

宝来町、相良町、上薩摩瀬町、下薩摩瀬町、下城本町

薩摩瀬地区は、球磨川や御溝川による浸水の危険性があるため、避難方法の見直しや地区内での緊急避難場所の確保、住まいの再建における安全性の向上等の取組を中心に検討を進めています。

- 安全性を高める建て方の誘導
- 公民館の再建
- 地域特性を踏まえた地区防災計画、マイ・タイムラインの作成
- 防災情報の伝達機能強化
- 緊急避難場所（災害公営住宅兼避難ビル等）の整備
- 自助共助の避難体制の構築
- 継続的・定期的な避難訓練
- 内水対策の推進・促進

### 左岸地区

西間下町、矢黒町、下戸越町

左岸地区は、球磨川と支流、急傾斜地に挟まれており、浸水と土砂災害の危険性があるため、「早めの避難」の徹底や「安全な避難」を実現するために必要となる取組を中心に検討を進めています。

- 地区内の主要道路の整備（拡幅や急傾斜地対策）
- 堤防道路の避難路としての整備
- 地域性を踏まえた防災マップの作成
- 地域内への実績浸水深の表示
- 情報発信機能の強化
- 避難支援ツールの配備
- 効果的な避難訓練の実施
- 安全な避難場所、車での避難場所の確保
- 矢黒第二排水樋管周辺の浸水対策
- 西瀬コミュニティセンターの防災機能強化

青井地区 復興まちづくりの方向(更新案) ~これまでの地区別懇談会意見を踏まえた方向(たたき台案)の整理(1/3)~

資料2

| 意見集約のキーワード<br>(復興計画の3つの柱)                                    | 地区の主な課題<br>(地区の復興まちづくりに向けた主な課題)  | 取組み方針<br>(課題解決のための取組み方針の柱)  | 具体の取組み(案)<br>※実現化に向け、今後検討が必要  |
|--|--|---|---|
| <p>①被災者のくらし再建とコミュニティの再生</p> <p>【住まい再建】</p> <p>【コミュニティ再生】</p> | <p>□<b>住まいの再建と安全性の向上</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道445号の拡幅計画の内容、建築可能な建物、嵩上げ方向など、早く示してほしい。</li> <li>・再建支援の充実。(新しい規格での再建等の対象外への対応など)</li> </ul> <p>□<b>地域コミュニティの再生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内活動の拠点である町内会館を早く復旧したい。</li> <li>・世帯数の減少により、町内会の運営が懸念される。</li> <li>・小学生～高校生の人数が減っており、祭りの際は他町内から手伝いに来てもらっている。</li> </ul> | <p>□<b>安全な住まいの確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・治水対策や復興まちづくりの状況を踏まえ、安全な場所での再建や、安全性の向上を図る修復・再建方策等の選択肢を検討する。</li> <li>・再建する建物にも、住宅や商いなど色々あり、それぞれが醸し出すものがあり、各地区の特性を踏まえて検討する。</li> </ul> <p>□<b>コミュニティの拠点の再生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や地域コミュニティの活動を支える町内会館等の拠点施設の再建・修復等を行い、町内会を中心としたコミュニティの再生を図る。</li> </ul>   | <p>□<b>安全性を高める建て方の誘導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物1階のピロティ化、想定浸水深以上の居室の確保。</li> <li>・建物構造の耐水化。</li> <li>・宅地の盛土・嵩上げ。</li> <li>・共同化事業(共同で浸水に強い高い階層のビル建築)</li> <li>・区画整理等の活用による高台への戸建て住宅等の換地や宅地嵩上げの検討(低地は、高い階層の共同住宅、非住居系建物、緑地等へ再配置を検討)</li> </ul> <p>□<b>災害公営住宅の導入検討</b></p> <p>□<b>地域の集会所等の再建</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会館の復旧。</li> </ul>   |
| <p>②力強い地域経済の再生</p> <p>【生業再建】</p>                             | <p>□<b>生業の再建と賑わいの再生</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再建負担や後継者問題等により、上青井の商店再建は厳しい。</li> <li>・商店街の集約化で考えられないか。(なりわい補助金活用も)</li> </ul> <p>□<b>観光資源の活用促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人吉駅から駒井田周辺は観光のイメージがない。</li> <li>・観光資源:青井阿蘇神社、SL、映画撮影現場。</li> </ul>   | <p>□<b>生業の再生に向けた環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの賑わいを高める魅力的な環境をつくる。</li> <li>・観光資源と連携した賑わい環境の充実と、観光のイメージづくり。</li> </ul>   | <p>□<b>個々の事業所の再建支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再建後の賑わい再生のためのビジョン・方針の共有化。</li> <li>・地域が連携し一体となった取組みと、店舗の再建支援。</li> </ul> <p>□<b>継続的な賑わい創出の取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人吉ひかりの復興計画などとも連携した夜の散策ルートの整備。</li> </ul> <p>□<b>公共交通を活かした人の滞留の促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大村横穴群(古墳)付近の道路整備による大型バスへの対応。</li> <li>・人吉駅と産交バスの提携による高速バス停留所の設置。(そこから歩いて観光でき、県外からの観光促進になり、地元の人でも駅経由で県外へ行ける)</li> <li>・JR肥薩線の早期再開。</li> </ul> |
| <p>③災害に負けないまちづくり</p> <p>【治水・土砂災害対策】</p> <p>※次のページへ続く</p>     | <p>□<b>河川氾濫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は何も流れていない溝から水が溢れてきた。いつもと違った。</li> <li>・山田川から水があふれるとは思わなかった。水の出方が早く、国道が川になった。</li> <li>・山田川からの流水について、どのような対策ができるか。</li> <li>・もともと人吉の温泉街のまちは、6mの堤防高があれば水害は来ないというデータがあったが、まちの人が「川が見えないから」という理由で反対した。6mあれば、だいぶ助かったかもしれない。</li> <li>・球磨川の幅を拡げ、堆積土砂を取ることが必要。</li> </ul>                              | <p>□<b>本川・支川の水位の低下</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な流域治水プロジェクトとの連携。(治水対策は大学教授たちを信頼して頭脳集団にお任せする。)</li> <li>・先人の智慧・治水対策の見直しと活用。水位の段階的な対策の検討。</li> <li>・まちの安全確保と水辺の景観に留意し堤防のあり方を検討。</li> </ul> <p>□<b>小河川の氾濫の抑制</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排水・浸透・貯留対策を進め、被害の軽減や避難時間の確保を図る。</li> </ul> <p>□<b>急傾斜地周辺の安全確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暮らしの安全や避難等の面で危険性の高い急傾斜地の安全を図る。</li> </ul> | <p>□<b>流域治水プロジェクトの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域治水プロジェクト…流水型ダム整備、市房ダム再開、河道掘削、遊水地や田んぼダム整備等。</li> <li>・可搬式特殊堤防の導入検討。(平常時は景観を楽しめる)</li> <li>・景観に留意した堤防の検討。(江戸時代の石垣、城壁風など)</li> </ul> <p>□<b>小河川の氾濫対策の推進・促進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放水路、浸透・雨水貯留施設等による内水対策。</li> <li>・御溝川の開渠(住民が氾濫状況を確認できる)、流水のコントロール。</li> </ul> <p>□<b>急傾斜地対策</b></p>   |

青井地区 復興まちづくりの方向(更新案) ~これまでの地区別懇談会意見を踏まえた方向(たたき台案)の整理(2/3)~

| 意見集約のキーワード<br>(復興計画の3つの柱)                           | 地区の主な課題<br>(地区の復興まちづくりに向けた主な課題)   | 取組み方針<br>(課題解決のための取組み方針の柱)  | 具体の取組み(案)<br>※実現化に向け、今後検討が必要   |
|---|---|---|--|
| <p>③災害に負けないまちづくり</p> <p>【避難対策】</p> <p>※次のページへ続く</p> | <p>□安全な避難ルートの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人吉西小への避難ルートは川・線路・崖に囲まれ、冠水しやすく問題が多い。</li> <li>・車でのスムーズな避難ができるよう国道445号の拡幅・改良等が必要。</li> <li>・南北方向の避難改善に向け、避難補助的な道路整備が必要。</li> <li>・球磨川の橋を渡って左岸へ逃げるのは危険。</li> </ul> <p>□避難施設の確保・改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水しない避難場所の確保・改善が必要。</li> <li>・高い建物の避難場所としての活用による、垂直避難の強化。</li> <li>・車の避難場所が必要。</li> <li>・早い段階の避難であれば、校区外（北泉田方面）へ避難も有効。</li> <li>・避難場所に活用できそうな公園はない。</li> </ul> <p>□安全な避難の仕組みと体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いち早く避難する心がけと準備、情報発信が必要。</li> <li>・一人暮らしの高齢者は自動車を所有しておらず、避難できない。（下青井会館に集まり、そこから車で球磨工業高校へ避難するようにしていた）</li> <li>・町内の90%が浸水被災する中で、要支援者支援体制の充実が必要。</li> <li>・夜間の避難対策も必要。</li> <li>・避難のためのマニュアルが必要。</li> <li>・今回5度目の水害で一番ひどかったが球磨川を恨んではない。また来ても仕方がないと思っている。自宅ベランダに屋根に上るための階段を作っており、他所をあてにしないで垂直避難する。</li> </ul> | <p>□安全な避難路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水・土砂災害の危険性を踏まえ、避難場所までの避難路の整備を進める。</li> <li>・南北方向の避難路の充実を図る。</li> </ul> <p>□複数の避難場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定緊急避難場所の他、一時避難可能な避難場所として、水害時の垂直避難に資する高い民間建物の利用や、高齢者等の一時参集（そこから車で移動）に資する公園の整備・確保など、まちなかに複数確保する。</li> <li>・避難後の不安を軽減するため、避難所の機能、環境、運営体制等を整える。</li> <li>・想定浸水レベルに応じ、方策を検討する。</li> </ul> <p>□適切な情報発信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい情報を迅速に伝える。</li> </ul> <p>□自助共助の避難体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援者の避難支援体制を、地域ぐるみで構築する。</li> <li>・夜間にも留意した避難誘導等の対応策の検討を行う。</li> <li>・自宅内で垂直避難可能な取組み（屋根への階段設置など）を検討する。</li> </ul> | <p>□地域の安全性の向上に資する道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で円滑な避難を可能とする避難経路・交通処理の多重化。</li> <li>・快適性にも留意した国道445号の整備。（拡幅・改良・再編等）</li> <li>・避難場所（特に人吉西小学校、球磨工業高校）までの避難路の整備。（車での移動に留意した拡幅整備など）</li> <li>・南北方向の避難路の充実。<br/><b>（村山公園への真っすぐな避難路の充実）</b><br/>（道路拡幅、排水対策、復興まちづくりと連携した新たな道路整備など）</li> <li>・災害時に活躍する公共交通の体制構築。</li> </ul> <p>□垂直避難や車移動に留意した避難場所の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所の建替や浸水対策（東西コミセン、駒井田町公民館等）</li> <li>・高層階のある立体駐車場、ホテル、マンション等への協力依頼、災害時の利用に関する協定の締結、避難ビル指定。利用ルールの検討。</li> <li>・新たな公共施設等整備における避難空間確保（浸水深以上の高さに避難場所がある避難ビル機能を持った建物の整備や民間誘導、駅前への立体駐車場整備）など。</li> <li>・車を伴う避難は、村山台地（人吉西小学校、球磨工業高校等）を利用。</li> <li>・住民も一般の人でも逃げ込める高い建物の整備・誘導。</li> </ul> <p>□防災情報の伝達機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各世帯への戸別受信機の配布。（市より、6月から順次配布）</li> </ul> <p>□自助共助の避難体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に起こり得る状況を想定した、地区単位での避難訓練の実施。</li> </ul> <p>□地域特性を踏まえたマイ・タイムライン、地区防災計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の災害リスクを踏まえ、時系列での防災行動計画を作成。</li> <li>・避難のタイミングを判断する地域独自の「きっかけ」の検討。</li> </ul> <p>□災害ゴミへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害後の災害ゴミ置き場の指定や、ゴミ置き場の管理体制の構築。</li> </ul> |

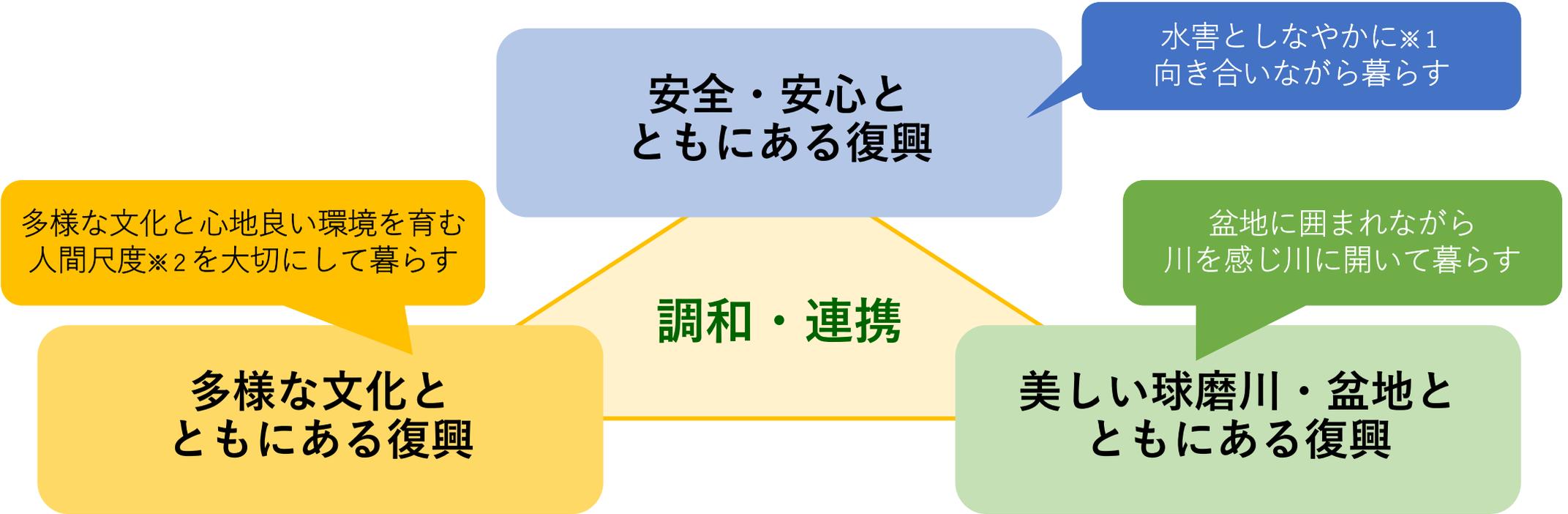
青井地区 復興まちづくりの方向(更新案) ～これまでの地区別懇談会意見を踏まえた方向(たたき台案)の整理(3/3)～

| 意見集約のキーワード<br>(復興計画の3つの柱)          | 地区の主な課題<br>(地区の復興まちづくりに向けた主な課題)  | 取組み方針<br>(課題解決のための取組み方針の柱)  | 具体の取組み(案)<br>※実現化に向け、今後検討が必要   |
|------------------------------------|--|---|--|
| <p>③災害に負けないまちづくり<br/>【復興まちづくり】</p> | <p><b>□留意すべき復興まちづくり上の課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人口や観光客等が減少し、空き地・空き家が増大することによる、再建意欲や活力の低下が懸念。<br/>(地区の環境の悪化や経済活動等の衰退など)</li> <li>“戻ってきたい、行ってみたい、元気になってきた”と思えるよう、地域資源や特性を活かしつつ、地区の魅力や“らしさ”を高めるようなまちづくりの必要性。</li> <li>住宅再建が大変で、公園整備にまでなかなか気が回らない。</li> </ul> <p><b>□インフラの課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>上青井地区の排水管が詰まり、交差点付近のトイレ等の水が蓮池に流れ込んでいる可能性。</li> <li>将来を考えた場合、都市計画決定時の道路幅員14mの妥当性再検討の必要がある。明確な理由説明が求められる。</li> </ul> <p><b>□地域特性を活かした復興まちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>青井地区(神社)の復興。</li> <li>「人吉旅館」は文化財登録。ちゃんと後世まで守っていききたい。</li> <li>青井地区は“観光”が第一では。以前の魅力以上にしないと観光客は帰ってこない。</li> <li>青井阿蘇神社と駅の間、門前町として整備、街灯で街を明るく、球磨川遊歩道までとす。観光客が夜でも回遊できるように。駅や神社からの観光客の回遊性。</li> <li>城址周辺を(大分県日田市)豆田地区みたいな雰囲気にした。高い建物はなるべく控えてもらい、古い街並みをつくりたい。</li> <li>J R肥薩線の早期復旧が大切ではないか。</li> <li>川とは共存関係。</li> <li>東北の防潮堤のように高くはいらない。いいとは限らない。高くなると街の魅力がなくなる。</li> <li>人吉には喫茶店が少ない。</li> <li>今の堤防高は子どもの目線では川が見えない。</li> </ul> | <p><b>□地区が一体となった復興まちづくり方針の共有化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市街地の空洞化を防ぎ、良好な市街地環境の形成と生活再建を進めるため、地域が一体となって連携して取り組む、将来ビジョンや土地利用のゾーニング等を検討し、将来方針を共有化する。</li> <li>空き地等を活かしつつ、道路・公園等の都市基盤の充実と宅地利用の増進を図るため、面的整備手法や規制誘導手法等を検討する。</li> <li>多様な主体(住民、事業者、関係人口ほか)の協働により、地域の元気を高めていく協働の取組みの活性化を図る。</li> </ul> <p><b>□地域特性を活かした魅力ある復興まちづくりの推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光・歴史文化拠点を形成する青井阿蘇神社周辺(人吉旅館を含む)において、周辺の門前町、球磨川の水辺、駅等とのネットワークに留意しつつ、まちなかの集客とコミュニティ強化につながる回遊軸と拠点の強化を図る。</li> <li>良好な景観資源・眺望等を、次世代により良い形で引き継ぐ、街並み景観の維持・増進を図る。</li> </ul> | <p><b>□青井地区のランドデザインの作成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民・事業者等、まちの関係者が共有のビジョンを作成し、多様な主体の活躍により復興まちづくりを進める。</li> </ul> <p><b>□面的まちづくり手法を活用した安全で快適な市街地環境形成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路・公園等の基盤や宅地を再整備する手法の検討。</li> <li>面的まちづくり手法を活用した、避難路、避難場所等の整備や、一部高上げ等の安全確保に資する整備検討。</li> <li>町内で高台へ換地し住まいの安全性を高めるような区画整理等の検討。(解体している所、空閑地、接道不良地区等で有効)</li> <li>面的まちづくり手法を活用した、公園、快適な歩行空間等の検討。</li> <li>国道445号の整備と連携した沿道市街地の誘導。(1階は店舗、2階以上は住宅など)</li> <li>下林柳瀬線を主要幹線道路にして位置づけ、国道445号は歩行空間を充実。</li> <li>蓮池から球磨川に向かうエリアでの道路幅員14mの整備。</li> <li>良好なまちなみ景観形成や、安全性や集客性に留意した建築活動等を実現する規制誘導手法の適用を検討。</li> <li>空き地等を活かした、共同住宅、共同店舗、立体駐車場等(一部避難ビルを兼ねる)の整備検討。</li> <li>高齢者がまちブラ出来るような、町内の駐車場・公園の整備。</li> <li>まちの中で市民が滞留できるような道路の整備。(車道の一部を狭くする)</li> <li>拡幅した道路を平常時交通規制し賑わいを創出。</li> <li>空き地等を活かした公園や子供の遊び場の整備(辻病院跡地活用、アムステルダムのような住宅裏側への共有広場整備など)</li> <li>街路樹を含めた町内の緑化。</li> </ul> <p><b>□賑わいや交流・コミュニティの活性化につながる拠点機能の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>面的まちづくり手法を活用した、交流拠点施設や回遊空間づくり等の検討。</li> <li>蓮池や文化財等を含めた、一体的な賑わい空間・広場等の創出。</li> <li>青井神社周辺での公園等の環境整備。(『球磨絵図』を活かした魅力ある環境づくり)</li> <li>球磨川から青井神社の鳥居への空間の門前町としての整備。(浴衣で旅館からまちなかを歩ける雰囲気づくり)</li> <li>駅周辺の鉄道を核としたまちづくり拠点の形成。</li> <li>新規出店希望者への空き地・空き店舗の情報共有・発信と誘致促進。</li> <li>サイクリングロードの整備検討。</li> <li>拠点間を散策可能な回遊軸の充実。</li> </ul> <p><b>□球磨川を活かしたまちづくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>水辺を活かした空間づくり。水辺の景観を楽しめる環境づくり。</li> </ul> |

# 人吉市まちなかランドデザインの方向(案)

※仮称まちなかのまちづくりのテーマ (将来像)

## 「〇〇〇〇のまち」 ひとよし



## 3つの柱が調和・連携し復興まちづくりを推進

多様な文化とともに歩んできた相良700年の歴史ある人吉に最大限の敬意を払い水害を乗り越え、美しい球磨川とともにある『持続可能な地域づくり』に取り組む

※1 将来の起こるかもしれない水害等の自然災害に対し、事前に備え柔軟に対応するという意味を込めて「しなやかに」という言葉を用いています。

※2 歩きやすい道幅や圧迫感のない建物の高さなどに配慮された町に、人は心地よさを感じます。城下町の歴史がある人吉市の中心部においてもこのような「人間が心地よさを感じる尺度」は大切にしたいと考えます。

# 人吉市まちなかグランドデザインの方針 イメージ図案(土地利用・景観)

## 人吉市まちなかグランドデザイン ①都市構造・土地利用・景観形成の方針(案)

(凡例)

※提案事項

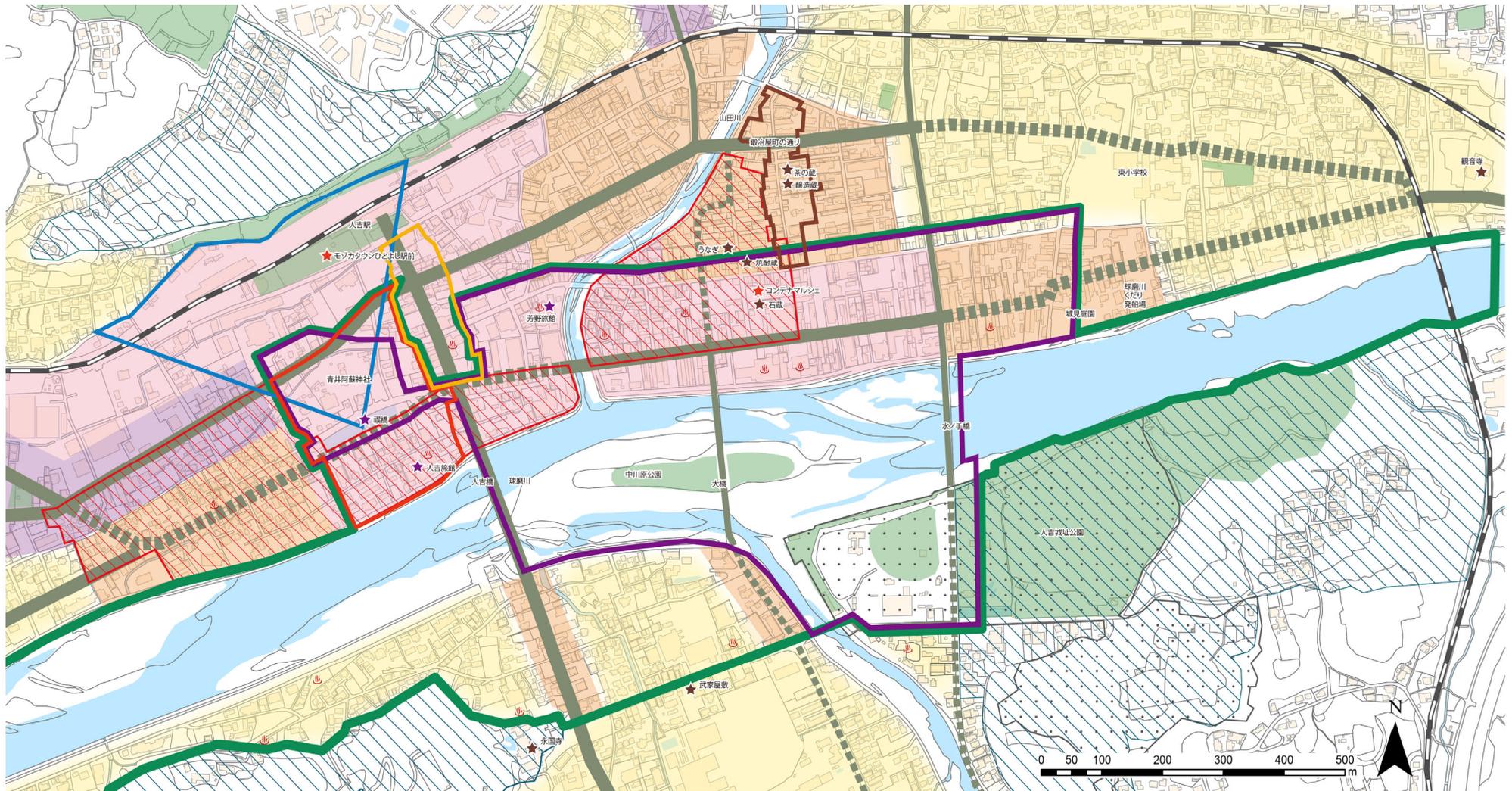
- 商業・観光ゾーン(賑わいや交流を促進する土地利用を図る)
- 沿道商業ゾーン(沿道型の商業地形成を促進する)
- 生業・居住共存ゾーン(生業を営みながらまちなかに暮らしを促進する)
- 居住ゾーン(まちなかに近い利便性を活かした居住地形成を図る)
- 被災市街地復興推進地域(検討区域)

- 球磨川河畔景観形成地域
- 青井阿蘇神社周辺重点地区
- 青井阿蘇神社眺望保全地区
- おくんち祭り伝統継承地区
- 鍛冶屋町通り街なみ環境整備事業地区

- 風致地区
- 人吉駅前地区 地区計画
- 史跡人吉城跡
- 公園・緑地

- 主要幹線道路
- 主要幹線道路(計画)
- 幹線道路
- 幹線道路(計画)

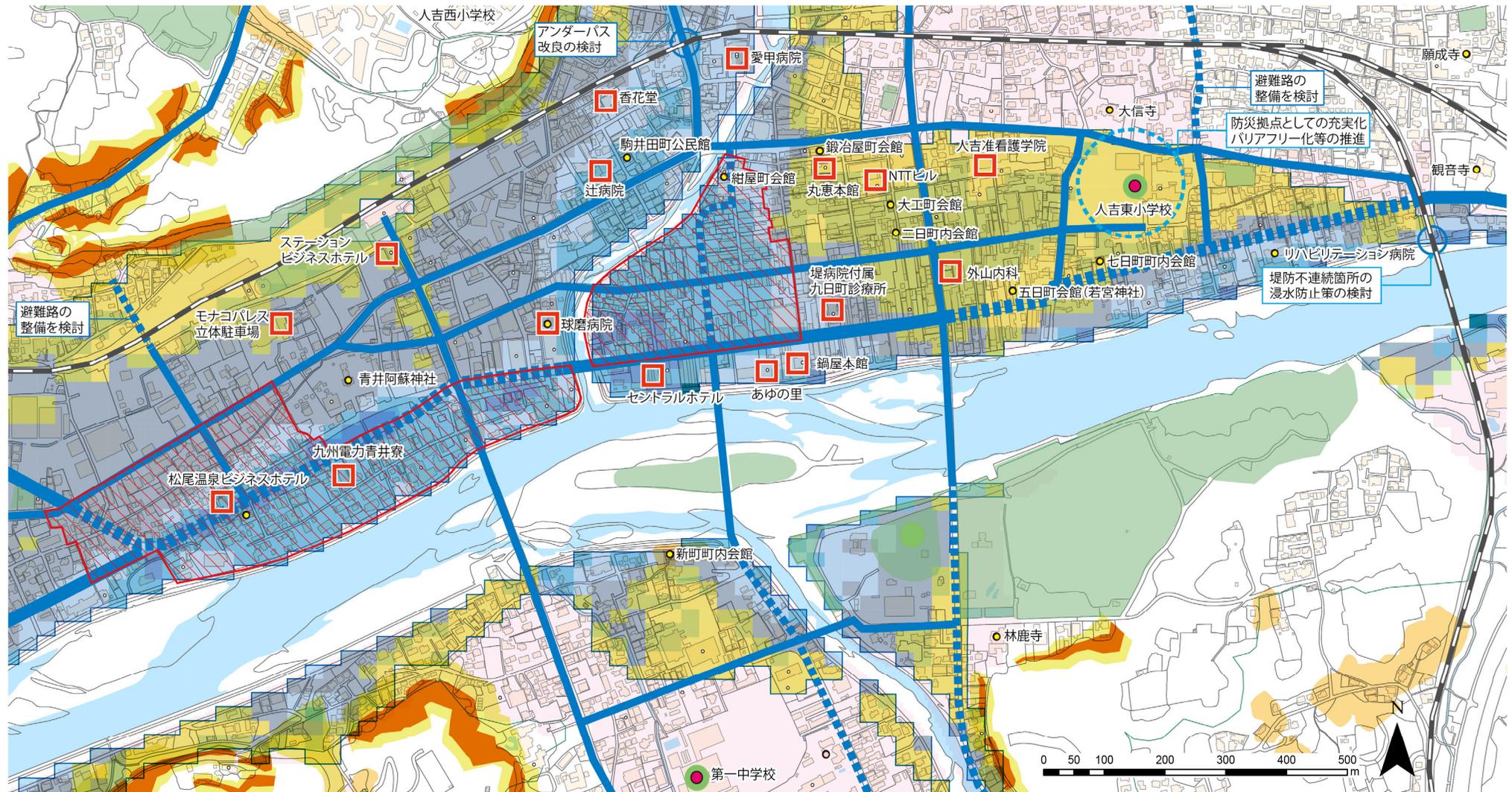
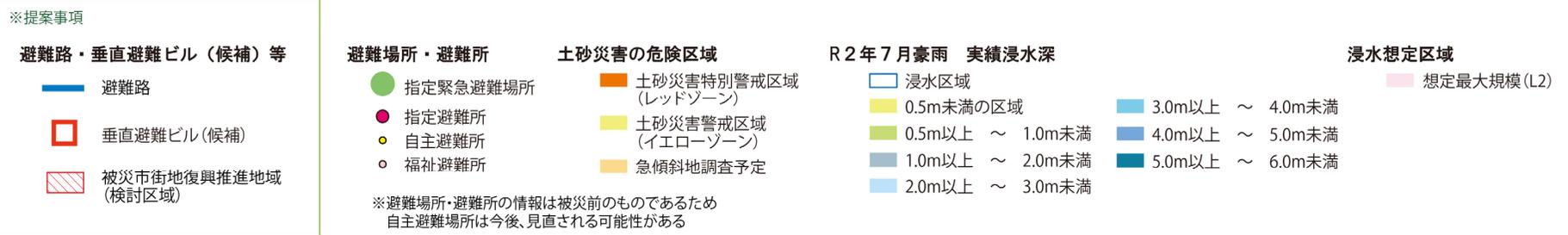
- ★ 登録文化財
- ★ 歴史的建物等
- ★ 仮設店舗等
- ♨ 温泉・公衆浴場



# 人吉市まちなかランドデザインの方向 イメージ図案(防災・安全性向上)

## 人吉市まちなかランドデザイン ②防災・安全性向上の方針(案)

(凡例)



# 人吉市まちなかグランドデザインの方向 イメージ図案(賑わい・歴史文化)

## 人吉市まちなかグランドデザイン ③歴史・文化・賑わい形成の方針(案)

(凡例)

|   |                                       |        |         |
|---|---------------------------------------|--------|---------|
| ※提案事項   |                                       |        |         |
| 人吉の歴史を語り継ぎ明るい未来を創る3つの杜<br>※青井の杜(古代中世)、城址の杜(中世近世)、復興未来の杜(現在から未来)           | 賑わい・交流拠点(人が集い賑わう交流拠点を形成する)            | 風致地区   | 登録文化財   |
| 賑わい・交流軸(3つの杜を連携し、賑わい・交流を促進する軸を形成する)                                       | 歴史・文化拠点(歴史・文化資源を活かした拠点形成を図る)          | 公園・緑地  | 歴史的建物等  |
| 球磨川プロムナード軸(球磨川の魅力を活かした親水空間の形成を図る)   | 潤い・憩い拠点(自然環境等を活かし潤いを感じ憩える拠点形成を図る)     | 史跡人吉城跡 | 仮設店舗等   |
| 山田川親水軸(山田川の魅力を活かした親水空間の形成を図る)   | まちなか居住・避難拠点(避難場所も兼ねたまちなか居住の拠点形成を図る)   |        | 温泉・公衆浴場 |
| 回遊散策路(人吉の魅力を楽しめる散策コースの形成を図る)<br>※賑わい・交流軸、球磨川プロムナード軸、山田川親水軸は機能として回遊散策路を兼ねる | 創造・交流拠点(川沿いの環境を活かした創造・交流を促進する拠点形成を図る) |        |         |
|   | 被災市街地復興推進地域(検討区域)                     |        |         |

